

● Photo sketch ●



7/3 世界に広がる日本の文化

岐阜大学のサマースクール(夏期短期留学)を利用し、アメリカ、中国、マレーシアなど6カ国21人の学生がどんぶり会館(肥田町)を訪れ、陶器など日本の文化を学ぶため作陶や絵付け体験をしました。

学生らは、母国語に日本語を交えながら、「はじめての体験で難しいけれどとても楽しい」「良いお土産になる。帰国後はこれでご飯を食べたい」など日本の文化を楽しみながら話してくれました。



7/4 原点は土岐市の“のどかな風景”

日本画家の石原進さん(土岐津町出身)に紺綬褒章の授与が決定し、市長から章記の伝達を行いました。同褒章は、公益のために多額の私財を寄付した功績のある方に授与されるものです。市に寄付された作品「邂逅の池」は鶴里町の民話を元に心象風景を描いたもので、新庁舎に飾られる予定です。石原さんは「たいへん光栄なこと、受章に恥じないように新たな出発点として精進していきたい」と話してくれました。



7/8 夏の研究 親子の絆も深めよう

文化プラザで「科学・社会作品パワーアップ講座」が開かれ、市内の親子連れ約60人が参加しました。

講師が、「あなたの宿題だから自分でやりなさいというのは禁句。ぜひ一緒に取り組み、サポートしてあげてください」と呼び掛けると、保護者の皆さんもなるほど納得した様子。親子でさまざまな資料に目を通しながら、今年の夏の研究テーマを楽しそうに探していました。



7/16 昆虫博士にいろいろ教えてもらったよ

昨年7月に開所した土岐高山城跡の森で、土岐津町まちづくり協議会が主催する「カブトムシ観察会」が開かれ、市内外から親子連れ約120人が参加しました。

参加者らはまず始めに、講師からカブトムシについての知識やエサの選び方、腐葉土の敷き詰め方など正しい飼育法を教わると、その後は屋外に出て腐葉土の中からカブトムシの成虫を掘り出す体験をしました。子どもたちは自然の中での生き物との交流を、夢中になって楽しんでいる様子でした。

7/2 盛り上げよう！土岐のミライ

今年3月から土岐の豊かな暮らしにつながる5つのテーマに対し、市民の皆さんと考え活動していく「土岐くらしのラボ」を開催してきました。今回は崇禅寺花園会館(妻木町)の大広間で、テーマごとに話し合ってきた合計12グループや、地域で活動する団体などが土岐での暮らしの楽しさや楽しみ方などを発表しました。また、参加者同士の絆を超えた大交流会も行われ、活動への更なる弾みとなった様子でした。この会議は今年度中にもう一度開催予定。皆さん、土岐のミライと一緒に考え活動してみませんか。



7/7 地域ぐるみで犯罪や非行を防止しよう！

「社会を明るくする運動強調月間」と「青少年の非行・防止強調月間」に合わせ、犯罪や非行の防止、立ち直ろうとする人を支援しようと、市内6校の中学校の生徒12人が一日保護司として街頭啓発活動を行いました。

生徒らは土岐市駅前で「青少年の健全育成にご協力をお願いします」「社会を明るくする運動をお願いします」など、通勤・通学で行き交う人々にうちわなどの啓発物品を配りながら、熱心に声を掛けていました。

